

2024 年度（令和 6 年）
東京藝術大学 美術学部先端芸術表現科
入学者選抜試験 第一次試験問題 素描

問題

あなたとポップコーンを描写しなさい。

与えられた A3 サイズの紙の上に袋の中身を出し、素描しなさい。

※袋及びお手拭きはモチーフではありません。

■補足説明

- ・木炭紙大画用紙（イラストボード）は、縦位置で使用する。

■試験時間 10:30～16:00

昼食時間 12:00～13:00（昼食時間に試験を続けて構いません。）

■配布物 問題用紙 1 枚、注意事項用紙、木炭紙大画用紙（イラストボード） 1 枚、
カルトン、クリップ 2 個、下書き用紙（A4） 2 枚、イーゼル
卓上鏡、ポップコーン、A3 用紙 1 枚、お手拭き

■注意事項 私語厳禁。他の受験生に迷惑のかかる行為を禁止します。
使用できるのは、鉛筆素描に必要な用具一式

※この問題用紙は試験終了後に回収します。

2024 年度（令和 6 年度）
東京藝術大学 美術学部先端芸術表現科
入学者選抜試験 第一次試験問題 小論文

問 1

課題文 A を読んで答えなさい。

著者がまずはじめに考察した芸術の理念はどのようなものですか。

200 字以内で要旨をまとめ、解答用紙の問 1 の枠内に記述しなさい。

問 2

課題文 A を読んで答えなさい。

あなたが表現したい世界のイメージは、どのような学問的認識と美学的認識を経てつくられますか？

これまで体験した出来事や経験をふまえて 600 字以内で解答用紙の問 2 の枠内に記述しなさい。

問 3

課題文 B を読んで答えなさい。

あなたが社会でマイノリティを自覚した経験と、これからつくる作品にそれらがどのような行為としてあらわれ、かたちづくられていくか、著者の言説を考慮に入れてあなたが表現したいことについて具体的かつ自由に 400 字以内で解答用紙の問 3 に記述しなさい。

出典：

◆課題文 A アンドレイ・タルコフスキー（2022 年）『映像のポエジア 刻印された時間』鴻英良訳、筑摩書房、pp. 60-67 より抜粋

◆課題文 B 川俣正、ニコラス・ペーリー、熊倉敬聡編（2001 年）『セルフ・エデュケーション時代』フィルムアート社、p. 78 より抜粋

※問 1、問 2、問 3 の記述にあたっては、日本語、縦書きで書くこと。

試験時間 10：30～13：30

※試験終了後、この問題用紙は回収します。

2024年度 東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科
入学者選抜試験 総合実技1日目 (3月6日)

問題1

課題文を読んだ上で、
「現代の、あなた自身の生活綴方」をテーマに、
与えられたダンボールを加工して自由に表現しなさい。

課題文：

大田堯 (2013) 『生きることは学ぶこと—教育はアート (大田堯自撰集成1)』藤原書店

<表現する上での注意事項>

- ・ 配布された材料を使用しなさい。(全て使用しなくてもよい。)
- ・ 配布された合板(受験番号が書かれた面)の上で表現しなさい。
- ・ 作品は移動させることがあり得るので、接着、接合を十分にしておくこと。
- ・ 明日の総合実技2日目、作品の前でプレゼンテーションをしてもらいます。

問題2

問題1で制作した作品について200字以内で説明しなさい。

与えられた解答用紙(200字)を使用してください。

※ 解答用紙に日本語、縦書きで記述すること。

試験時間：10時～15時30分

昼食時間：12時～13時(昼食時間に試験を続けて構いません。)

※ 試験終了後、この用紙は回収します。

2024年度 東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科
入学者選抜試験 総合実技1日目 (3月6日)

配布物リスト

【配布材料】

ダンボール 357mm×300mm×240mm
クレパス 12色 1箱
色鉛筆 12色 1箱
合板 600mm×450mm×9mm (土台)

両面テープ 1本
クラフトテープ 1本
でんぷんのり 1本

【配布物品】 ※作品に使用しないこと。

問題用紙 1枚 課題文 1枚
配布物リスト (この用紙) 1枚
注意事項の紙 1枚
カッターマット

作品提出方法についての用紙 1枚
解答用紙 (問題2用) 1枚
ハサミ 1本
定規

注意

- ・できるだけ机やカッターマットを材料で汚さないこと。汚してしまった場合はウェットティッシュを配布しますので、申し出て下さい。
- ・カッターで机を傷つけないようにカッターマットを使ってください。

※ 試験終了後、この用紙は回収します。